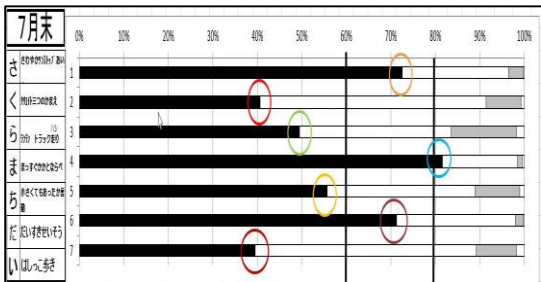


令和3年度 長崎市立桜町小学校 学力向上プラン



さくらまち習慣 ＜自立＞

さわやかワンストップ
挨拶の様子



相手の目を見て、礼儀正しく

まっすぐかかと並べの様子



両手できちんと揃えます



朝から走って、脳を活性化



縦割り班で黙々と取り組みます



縦割り活動＜共生＞



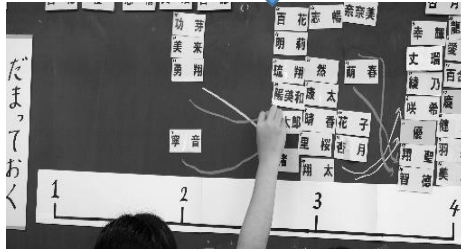
いそがずはしっこ歩きの取組



自ら考え、学び合うための
ハンドサイン



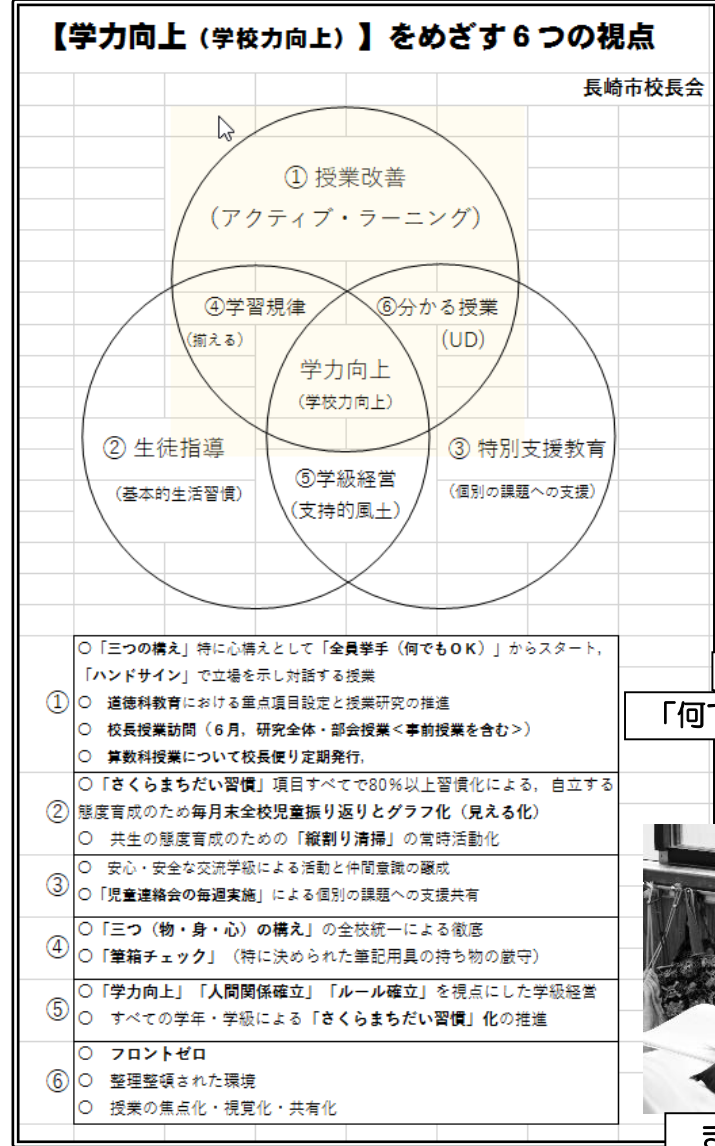
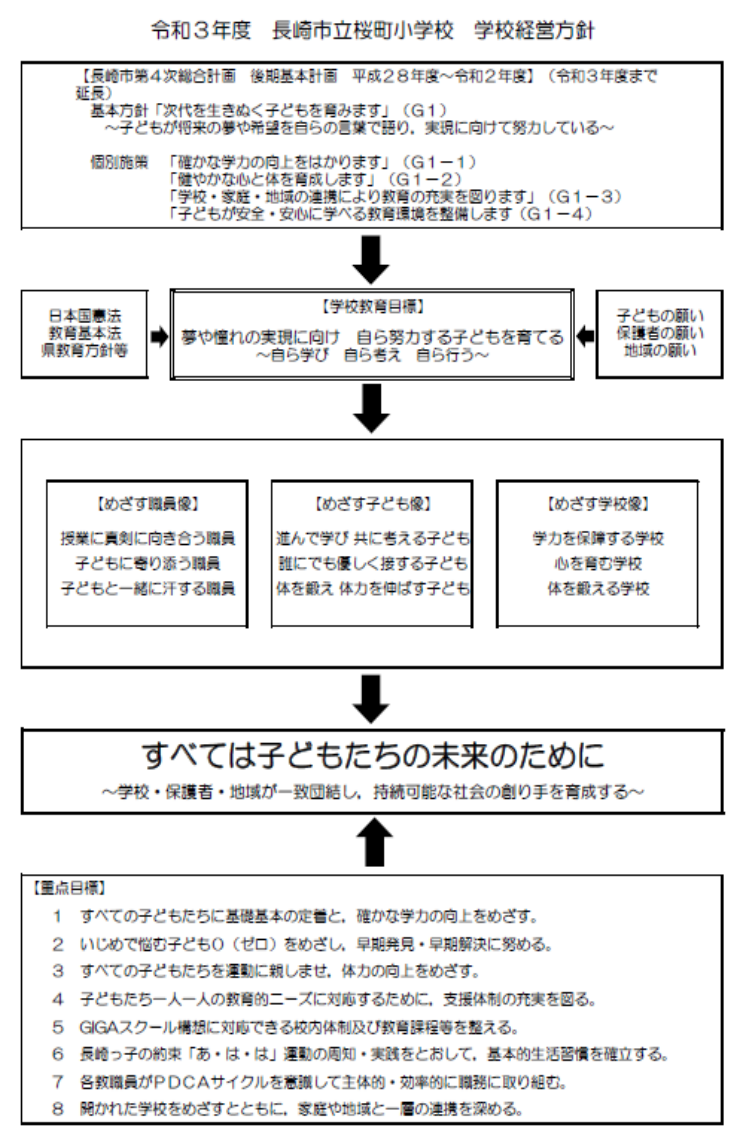
相手を説得するペア討議



よりよい考えへと変容する様子

全校取組事項

授業改善＜創造＞



さくらまち

みんなで はんのう ハンドサイン

① いいたいことがあります！・いいけん

② にています・つ（ツ）けくわえます

③ さんせいです

④ しつもんです・よくわかりません

三つ（物・身・心）の構え
「何でもOK」全員拳手からスタート



めあて設定



まず、自力で考え解決する



相手を説得するペア討議



よりよい考えへと変容する様子

まとめ と 振り返り

生活科・総合的な学習の時間を核にしたカリキュラムマネジメント

令和3年度 全国学力学習状況調査
調査結果・質問事項等の全国平均との比較

○…上回っている
□…下回っている

- 国語、算数ともに、全国・県平均を上回っている。
- 文章構成や展開を考える力、目的を意識して要約する力が高い。
- 理由や根拠を書くすべての問題に、最後まで粘り強く取り組んだ。
- 話し合いでは、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
- 話し合い活動によって、自分の考えが広がったり深まったりしている。
- 自分で計画を立てて勉強に取り組むことができる。
- 一日一時間以上勉強する人は、全体の70%を越えている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと認識している。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う児童がほとんどである。
- 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦しようとする態度が弱い。
- 学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組む態度がやや弱い。



学びや生活を強化していく事柄

- ◎ 解決するまで粘り強く問題に取り組む自己調整力。
- ◎ 課題について、多様な解決方法を考える態度。
- ◎ 話し合い活動のよさを実感できる授業の展開。
- ◎ 自ら読書したり勉強したりする知的好奇心や真面目さ。
- ◎ 学んだことを生活の中で積極的に活用しようとする態度。

学びや生活を改善していく事柄

- 思いやり、規律遵守態度の醸成。
- 話し合い活動の充実（目的意識、場、態度）。
- SNSの適正な活用、及び、基本的生活習慣の定着。
- ボランティア活動、縦割り活動、児童会活動の充実。
- みんなで話し合って決めたことなどに自発的に取り組み、充実した実感を味わう活動を仕組むこと。

令和3年度の校内研究について

- 研究教科 生活科・総合的な学習の時間
- 研究主題
「なりたい自分に近づく道筋を考え、他者と共に、よりよく課題を解決する子どもの育成」
～ 育てたい力を明確にした単元の構築 ～
- 主題の意味
「なりたい自分」 → ① キャリア的な夢や目標 → 学校目標
② 各教科学習におけるゴールの姿 → 「夢や憧れの実現に…」
「近づく道筋を考え」られるように
→ 育てたい資質・能力（他者理解、協働性など）を明確にもつ
→ 「探究的な学習過程を一層重視し、…」 学習指導要領（P6）
→ 課題設定と振り返りの重要性（自己調整力、学びの調整）
学習指導要領（P111）
「他者と共に、よりよく課題を解決する子」＝学習指導要領 第1の目標
→ 「2 他者と協働して主体的に取り組む学習活動にすること」
学習指導要領（P119）
→ 「（3）よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていく」
学習指導要領（P11）
- 研究仮説
生活科・総合的な学習の時間において、実現するにふさわしい探究課題を設定し、探究的な学習過程を踏まえた単元を構築し、実践することにより、主題に迫ることができるであろう。
- 研究の方向性
① 「桜っ子くんち」の学習過程の見直し、指導計画の作成
② 育成する資質・能力を明確に位置付けた単元計画の確立
③ 横断的な学習を進めるためのカリキュラムの整理
- 研究内容
① 探究的な学習課程の構築
・「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」
② カリキュラムの見直し
・生活科・総合的な学習の時間を中心にしたカリキュラムマネジメント

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの充実